



大明小学校

校長室から

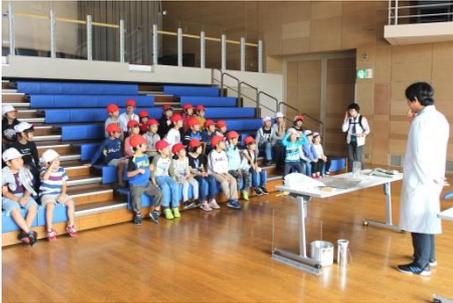
令和元年10月25日

No. 36

文責 校長 飯久保一男

校外学習（2年生）

2年生の生活科見学「小さなたび」一緒に行ってきました。ちょっとだけ紹介します。



県立科学館…全体でサイエンスショーを見て、グループで様々な体験をしました



楽しいお弁当のひとときです



遊具で少しだけ遊べました



甲府駅…ちょっぴり緊張して、切符を買って、自動改札を抜けました



身延線での20分ほどの電車での旅でした



バス内を撮ろうとしたら1年生と同じく、2年生も姿が見えませんでした…

県立科学館を見学し、甲府駅から東花輪駅まで身延線の乗車体験をして帰ってきました。

県立科学館では、サイエンスショーを見た後は、館内をグループごとに自由行動をしました。迷子を出さず、時間には全員集合しました。高学年の自主見学のような見学ができました。素晴らしい！

電車に乗る機会は、山梨県（南アルプス市）に住んでいるとあまりありません。自分で切符を買って、電車に乗る体験がなかなかできません。初めてという子も多かったようです。

楽しく、内容の濃い「小さなたび」でした。

…私は、2年前に埼玉の研修に参加したところ、大宮で解散になり、自力で家まで帰ってくるハメになりました。電車の乗り継ぎや特急の指定席をとるのに苦戦したことを思い出しました

図工の授業（2年生 ver.）

図工・美術大会に参加する授業の取り組みが各学年で始まっています。図工・美術が専門の私にとってはいろいろと口を出したくなりますが、担任が指導しているところの邪魔はしません。そこは担任に任せ、じっと我慢です。もちろん、こういうふうには指導するといいいというアドバイスは各担任にはしますが、授業のできる担任はいいよなあと思う瞬間でもあります。そんな中、私に指導をしてほしいという学年やクラスもあり（依頼をされるとうれしくて楽しくて…）授業をさせてもらっています。…

実は、教師の指導の中には、ハツタリに近いもの（語弊があります）があります。例えば…

跳び箱が跳べない子を指導するときに「私が教えた子で跳び箱を跳べなかった子はいない。私の言うとおりにやれば絶対跳べるようになる」と宣言します。もちろん、跳ばせるための指導法の研究をしっかりとあることは言うまでもありません。そして、指導を始めると、1人、2人と跳べるようになります。こうなったらシメタモノです。この先生の言う通りにすれば跳べるんだという信頼が生まれ、跳べなかった子が全員跳べてしまうのです。教師への信頼と言えれば聞こえもいいですが、ある種の集団催眠に似た感じかもしれません…

そんな意味もあって、図工の授業に飛び込みで行く（それまで授業をしていないのに特別に授業に入る）ときは、まず、自分の作品を紹介します。黒板にササッと絵をかくこともしますが、始めからパワーポイントで用意しておくものもあります。昨日、2年生のそれぞれのクラスで行った授業バージョンを紹介します。



まず、私の作品の紹介をします。真ん中と右は余計ですが、1枚目で子どもたちをひきつけます。この人は絵がうまいんだと思わせれば成功です。

…このやり方は「絵が描けないと図工の指導はできないのか」と反感を買いそうですが、絵が描けるという特技を生かした方法でもあります。当然、自分は絵を描かないけれど図工・美術の指導の優れた教員を何人も知っています。

そして、子どもたちに伝えたい「2つのこと」がよく表れた作品を紹介していきます。



授業は、作品を紹介しながら、伝えたいことを話していくことが中心でした。1年生にも似た感じの授業をしました。来週は6年生に授業をさせてもらいます。今、気合を入れて6年生バージョンをつくっています。